

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：東山地区	開催日時：令和7年5月7日（水） 18時00分 ～ 19時45分
担当班：第4班（出席議員） 譲矢 隆、大島智子、小畑 匠、古川雄一、石田典男、横山 淳	
開催場所：東公民館	
参加人数：男性 13名、女性 2名、合計 15名	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など 1. 意見交換の総括 (1) 議会報告、市政全般についての総括 ① 2月定例会議について 陳情（福島県の自然と景観を大規模な再生可能エネルギー施設開発から守るため、福島県に法的な整備を求めることについて）の結果が釈然としない方から議員個人の意見を求められた。 ② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 特になし。 (2) 地区別テーマについての総括 ① 地区別テーマ 東山地区の防災について ② テーマ設定の理由、背景 土砂災害警戒区域に多くの住民が暮らしており、防災意識の高まりがある一方で、防災活動が停滞気味の町内会もある。 ③ 主な地域課題 住民間による様々な意見交換があり、地区全体のレベルアップが期待できる意見交換会となった。	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月26日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第 4班 代表者 譲矢 隆

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
解散した町内会があると聞いたが事実か。また、その町内に補助金は出ないのか。 町内会が市に収めるお金はあるのか。	解散した町内会はある。補助金でなく均等割りと戸数割により計算された交付金が交付される。この交付金は区長への手当ではなく、町内会で用途を決めている。 また、町内会が、市に納めなければならないお金はなく、赤い羽根募金などは、あくまでも任意である。	○	①		地域社会
大雪で大変苦労した。市長もいろいろ教訓ができたと言っていたが、議会も大きな問題として考え、改善していただきたい。	ご意見として伺う。	○	②		雪害対策
議会への陳情が不採択になれば、市も議会も関係なくなるのか。	議会としての意思が決まったので、そこで終結となる。ただし、陳情者が同様の内容で再度陳情する場合もある。	●	①		議会活動
令和6年陳情第6号「福島県の自然と景観を大規模な再生可能エネルギー施設開発から守るため、福島県に法的な整備を求めることについて」は、採択してもよかったのではないかと思います。釈然としないので、不採択の理由を聞きたい。	この陳情は、令和6年12月に提出され、継続審査となっていた。自然景観を大規模開発から守ることについて、県に法的整備を求めるものだが、陳情の出し方に問題があったと考える。賛否については、各議員の考えがあると思うので、個別に確認していただきたい。	●	①		議会活動
風力発電の開発によって、土砂災害が起きる可能性がある。防災の観点や考え方について議員に伺いたい。大きな問題で、個人的な問題ではないと思うから聞いている。	議員個人の考え方は、意見交換会では答えないことになっているので、意見交換会后、個別に考え方を聞いていただきたい。それぞれ重要な問題として認識していることは理解いただきたい。	●	①		議会活動
風力発電の開発は大きな問題で、陳情の内容でなく手続きの問題で却下されたのか。これだけ重大な問題なのに個人の問題で済ませてよいのか。	最終的には各議員が判断した結果であり、それが議会としての決定なので理解していただくしかない。この議会では採択されなかった。	●	①		議会活動

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地区の防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
16町内会のうち、15町内会が土砂災害警戒区域にある。地域内人口約5,000人のうち、約40%の方が対象となっている。避難場所は東山小学校と東公民館だが、どちらも土砂災害警戒区域内にあることから、「東山・人と地域をつなぐ会」として、避難指示が出た時に避難できる5企業・団体と協定を締結した。具体的活用等については今年度の課題である。 (5企業・団体は、会津医療生活協同組合・立正佼成会・若松ガス株式会社・会津若松商工会議所・ホテルいづみや)	ご意見として伺う。	○	②	
慶山地区で施工されている砂防ダム整備の進捗状況について伺う。また、全体完了時期も知りたい。	第1堰堤は、8月までが工期で間もなく完成する。第2堰堤は、今後施工されると思うが、いつ始まるかは不明である。 全体完了時期について、市道占用許可期限は令和9年までだが、不明である。	○	①	
防災について先進的な活動をしてきたが、コロナ後は停滞しており、自主的な活動は難しい。防災庁の誘致には期待している。	ご意見として伺う。	○	②	
南千石町では、家族情報カードを作成し、要支援者の避難行動を班ごとに決めて配付した。	ご意見として伺う。	○	②	
飯盛ニュータウン地区では、町内会予算で防災リュックを購入し、全家庭に配布した。	ご意見として伺う。	○	②	
千石ニュータウン地区では、防災会の立ち上げを提案したが却下された。 数年前に連絡網を作成し、昨年はそれを活用して災害訓練を実施した。20戸の班があったが、約30分で連絡ができ、班ごとの避難経路の検討も始めた。 また、出前講座は年1回実施している。	ご意見として伺う。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地区の防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
慶山地区では、家族情報名簿の作成は、個人情報の壁があり難しい。また、災害に対する住民の意識を変えるにはどうしたらよいのか教えてほしい。	ご意見として伺う。	○	②	
南千石町では、4月に家庭調査票の提出をお願いしているが、特に問題なく協力いただいている。要支援者自らが支援を申し出ている。	ご意見として伺う。	○	②	
慶山地区では、家庭調査情報は日々変化している。要支援者の情報共有は区長と民生・児童委員までとなっているが、支援するのは住民なので、どこまで情報共有すればよいのか難しい。要支援者の情報管理は負担が大きい。	ご意見として伺う。	○	②	
飯盛ニュータウン地区では、家庭調査票の回収率は4割程度で要支援者名簿も活用しきれていない。情報漏洩も心配である。	ご意見として伺う。	○	②	
家族が消防団に所属しているので、一般の方よりも情報が早く入る。町内会の誰かが消防団に入っていれば住民に対して情報が早く流せるのではないか。	ご意見として伺う。	○	②	
御薬園東地区では、今冬の豪雪で町内の一部が冠水し、消防団にはお世話になった。 砂防ダムも作られ状況が変化し、土砂災害はないという意識がある。 また、食料の備蓄について議論している。家庭調査票情報は役員までの共有で作成されている。火災の際に役立ったこともあり、重要性も認識されている。組織作りは難しい現状にある。	ご意見として伺う。	○	②	
慶山一丁目地区で防災組織を作ろうと考えており、町内にどのような方々がいるのかの情報把握が出発点であると考えている。	ご意見として伺う。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地区の防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
千石ニュータウン地区では防災意識は低いと感じる。個人的には、要支援者への対応が大事であり、各地区がどの災害協定締結施設等へ避難するか決めておくことが重要と考える。	ご意見として伺う。	○	②	
千石ニュータウン地区では、背炙り山での風力発電計画について、その地盤は脆く、土砂災害が起きる危険性があるとの意見がある。	ご意見として伺う。	○	②	
市の防災訓練が東山地区で開催される予定で、危機管理課と話したが、訓練の想定災害は地震と言われた。 災害協定は土砂災害を想定しているので、訓練の内容を検討する必要があると考えている。また、災害時の協定施設は南千石町などに集中しているので、今後避難する町内会・避難人数などを含め調整が必要と考えている。 要支援者の避難についても重要であり、災害協定ができたからすぐに使えるという状態にはないことを理解いただきたい。 協定の締結は令和6年の11月から令和7年2月にかけて行われた。また、災害協定については、全体的な話として出ていたのでないかと思う。	防災訓練について危機管理課から詳しい内容が議会に示されれば、今日話された内容についても伝えていきたい。	○	②	
令和6年の防災訓練に参加したが、開催地区の特色が感じられなかった。協定施設に避難するなど東山地区の特色を生かして、住民にも意識してもらえるよう取り入れてほしい。	議会としても意見を述べていきたい。	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 東山地区の防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
市としての基本的災害対策というものはあるのか。	市地域防災計画は策定されているが、近年発生した様々な災害を受け、国から災害対応計画策定の指示があり、現在新たに策定中である。 また、平成29年に策定された市水防計画があるが、令和9年に向けて新たな計画を作る予定がある。	○	①	
策定中の防災計画には一般的なものでなく、夏と冬、夜と昼等による想定を盛り込んでほしい。	ご意見として伺う。	○	②	
町内会の実情として、「組」単位であれば、除雪の「要・不要」などの各戸の情報は、つかみやすい。	ご意見として伺う。	○	②	
世帯の情報カードを作成する場合の雛型はあるのか。	危機管理課、地区社会福祉協議会、公民館等にある。	○	①	